

カナダ・ケベック州のダンス界で多彩な表現方法を探るパイオニア的存在ポール＝アンドレ・フォルティエ  
がフランス、イギリス、カナダでのツアーを経て、山口に登場。



Photo: Martine Doucet

## 30日間、30分、街を背景に踊るー

野外連続ダンス公演

サーティー・サーティー

### 「30x30」

振付・出演：ポール＝アンドレ・フォルティエ  
記録映像：田邊アツシ(山口市吉敷在住)

日時：2006年6月19日(月)～7月18日(火)  
12:30～13:00(連日)

会場：山口市道場門前・西門前商店街 ※料金無料

## 60分間のダンス作品を メディアアーティストと制作するー

YCAM滞在制作新作ダンス公演

ワン・シックスティー

### 「1x60」 (世界初演)

振付・出演：ポール＝アンドレ・フォルティエ  
映像：南 隆雄

日時：2006年7月23日(日) 開演14:00～  
会場：山口情報芸術センター スタジオA

山口情報芸術センターでは、カナダ、ケベック州を拠点に活動する振付家／ダンサー ポール＝アンドレ・フォルティエによる2つの新作プロジェクト「野外連続ダンス公演『<sup>サーティ・サーティ</sup>30x30』」と「YCAM滞在制作新作ダンス公演『<sup>ワン・シックスティ</sup>1x60』」を行います。

「30x30」は4カ国5都市を横断し、各都市で30分の踊りを30日間続けて行うという、合計150日間もの歳月かけて行う野外連続ダンス公演です。そして、「1x60」は<劇場>という閉じられたスペースで見せるダンス作品で、山口に滞在しながら日本人メディアアーティストと創作する新作です。これは世界で初めて山口で発表します。

**■カナダ・ケベック州におけるコンテンポラリーダンスシーンを牽引してきたポール＝アンドレ・フォルティエが山口に約1ヶ月滞在。**

ポール＝アンドレ・フォルティエは、演劇と文学の教鞭をとった後に1973年にダンスを始め、今年58歳になる現在でも現役で活躍する振付家／ダンサーです。

彼は、70年代よりジネット・ローランやエドゥアール・ロック、ダニエル・レヴェイユといったあらゆる世代のケベックの振付家を生み出した、まさしく**才能ある人材の宝庫ヌーヴェル・エール**に入団し、活動をしてきました。

その後、人間関係やタブーなどを鋭い視点を取り入れた作品を多く発表し、注目されてきました。

現在は、モントリオールの芸術総合センターであるプラス・デ・ザールの振付教授に任命され、さらに、ケベック芸術文芸カウンシルの副委員長を務めています。

山口情報芸術センターは、才能あるアーティストの作品制作に参加・協力し、山口から国内外へ発信する滞在制作を行っています。今回は、カナダ・ケベック州の熟年アーティスト ポール＝アンドレ・フォルティエと、山口市在住の若手クリエイター田邊アツシ、ならびに日本を拠点に国内外で活躍するメディアアーティスト南 隆雄とのコラボレーションで、新たな表現法を模索していきます。

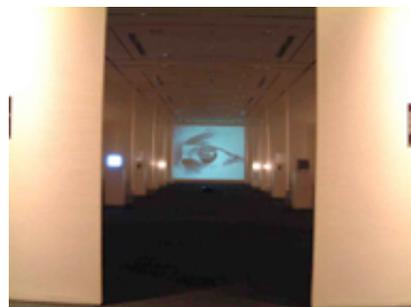
どうぞ、この機会にポール＝アンドレ・フォルティエのプロジェクトをご紹介しますよう、よろしくお願いたします。



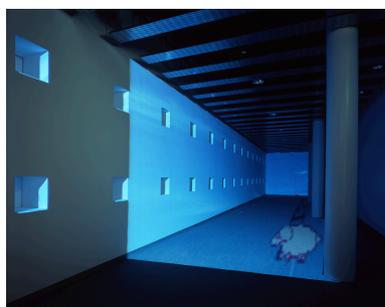
ポール＝アンドレ・フォルティエ振付・出演作品  
「Lumière」 Photo.Robert Etcheverry



ポール＝アンドレ・フォルティエ振付・出演作品  
「Tensions」 Photo.Robert Etcheverry

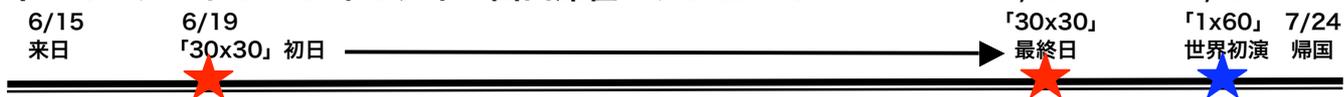


田邊アツシ 作品(私画像展より)



南 隆雄 作品  
『第9回「る会 ～生きシヨン～」作品1』 Photo.伊奈英次

**ポール＝アンドレ・フォルティエ山口滞在スケジュール**



サーティ・サーティ  
野外連続ダンス公演 「30x30」

振付・出演：ポール＝アンドレ・フォルティエ  
記録映像：田邊アツシ(山口市吉敷在住)

日時：2006年6月19日(月)～7月18日(火) 12:30～13:00(連日)  
会場：山口道場門前・西門前商店街 ※料金無料

■4カ国5都市を横断！ 山口の街を背景に30日間30分踊る野外連続ダンス公演「30x30」。

「30x30」は、イギリス(ニューキャッセル)を皮切りに、フランス(ナンシー)、カナダ(オタワ、モントリオール)、日本(山口)を横断し、各地で街を背景に 30 日間 30 分かけて踊るサイトスペシフィックなダンスプロジェクトです。全行程 150 日間をかけたこの挑戦は、90 日を終えて山口に到着しました。

ここでフォルティエは、60 歳を目前にし、改めて踊ることの意味を問い直して老いを前にした自身の身体に対峙しながら時間や街との関わりを探っています。

「30x30」は、日本では山口のみで行われ、山口市内在住の映像作家 田邊アツシにより撮影。映像作品として世界ツアーを予定している新作ダンス公演「1x60」公演時を初め、各地で上映されます。

劇場から街へ飛び出し、風雨にさらされて変化する振付の推移を自らの体で感じようと、旅に出たポール＝アンドレ・フォルティエ。それを、田邊アツシが映像で向かい合い、一本の作品に仕上げます。

「男と街の 900 分の親密な関係。私は人々が思いもしない場所でダンスをする。通行する人々は、立ち止まって見て行こうか、あるいはそのまま立ち去るか、視線を投げかけて判断するだろう。私の無礼な身体は、あなたの視線にすべてをさらし、見る人の中に潜む自由に対する密やかな欲望や罪に挑戦する。私は、私自身でありあなた自身でもあるのだ。あなたが来てくれることを期待するが、待つことはしない。あなたは私を探さなくても見つけられる。この世のものとは思えぬ放浪者と出会えるチャンスだ。」 ポール＝アンドレ・フォルティエ



ワン・シックスティー  
YCAM滞在制作新作ダンス公演 「1x60」

振付・出演：ポール＝アンドレ・フォルティエ  
映像：南 隆雄 (映像サポート：松本典子)

音楽：アラン・ティボー 照明：ジョン・モンロ 衣裳：ドゥニ・ラボワ 振付助手：ジネル・シャノン

日時：2006年7月23日(日) 開演14:00～ ※22日(土)に関係者向け招待公演を行います。  
会場：山口情報芸術センター スタジオA

■カナダ・ケベック州のダンスの歴史を作ってきたポール＝アンドレ・フォルティエと、国内外で活躍するメディアアーティスト南 隆雄が新作を創作。世界に向けて発信！

「1x60」は、街を背景にダンスを野外で毎日展開するプロジェクト「30x30」と対照的に、劇場空間で披露する60分の新作です。限られた<時間>、そして客席や照明などが設置された鑑賞に最適なく空間>を、ダンサーと観客が共有することの意味を問いかけていきます。

山口情報芸術センターの特徴であるメディアと制作機能を活用し、2003年YCAM開館時に羊をテーマとした映像展示や、2005年イギリス・リバプールでの「Rock the future」展への参加など、国内外での活躍著しいメディアアーティスト「るさんちまん」の南 隆雄との共同製作を行います。山口で生まれるこの作品は山口情報芸術センターで世界初演の後、カナダのダンスフェスティバルをはじめ、北米や欧州での公演が予定されています。

カナダ・ケベック州におけるダンスの歴史を作ってきた熟年振付家と日本の若手アーティストが、身体の動きとインタラクティブに呼応するメディアを駆使したダンス作品に挑みます。

\*今後のツアー予定 2006年12月13日(月)、14日(火) プラス・デ・ザール、カナダ・ケベック州

## 概要

### ポール＝アンドレ・フォルティエ野外連続ダンス公演「<sup>サーティ・サーティ</sup>30x30」

振付・出演：ポール＝アンドレ・フォルティエ  
記録映像：田邊アツシ(山口市吉敷在住)

日時：2006年6月19日(月)～7月18日(火) 12:30～13:00(連日)

※13:00を予定していましたが、12:30に変更になりました。

会場：山口道場門前・西門前商店街(コープどうもん店裏側一の坂川) ※料金無料

### ポール＝アンドレ・フォルティエYCAM滞在制作新作ダンス公演「<sup>ワン・シックスティ</sup>1x60」

振付・出演：ポール＝アンドレ・フォルティエ  
映像：南 隆雄(映像サポート：松本典子)

音楽：アラン・ティボー  
照明：ジョン・モンロ  
衣裳：ドゥニ・ラボワ  
振付助手：ジネル・シャノン

日時：2006年7月23日(日) 開演14:00～ ※22日(土)に関係者向け招待公演を行います。

会場：山口情報芸術センター スタジオA  
〒753-0075 山口市中園町7-7 tel.083-901-2222 fax.083-901-2216  
information@ycam.jp www.ycam.jp mobile.ycam.jp(携帯用)

#### チケット情報

料金：全席指定

A席一般2,500円 any会員/特別割引2,000円

7月29日(土)、30日(日)「アンデルセン・プロジェクト」とのセット券

一般5,000円 any会員4,000円

B席1,000円(学生対象 学生証をご呈示ください)

\*セット券は山口情報芸術センターのみの取り扱いになります。

山口市文化振興財団チケットインフォメーション：

TEL.083-920-6111(受付時間10:00～19:00 火曜休館 祝日の場合は翌日)

ローソンチケット：TEL.0570-084-006：Lコード61319

any会員先行予約 6月10日(土)～

プレイガイド発売 6月17日(土)～

・公演後、アーティストとアフタートークを行います。

□期間中、山口市立中央図書館で関連書籍を展示します。

**主催**：財団法人山口市文化振興財団、Fortier Danse-Création  
**助成**：アサヒビール芸術文化財団、芸術文化振興基金、地域創造  
**カナダ公的助成** (Partenaires gouvernementaux) :  
Conseil des Arts du Canada、Conseil des arts et des lettres du Québec  
Conseil des arts de Montréal、Emploi-Québec  
**後援**：山口県、山口県教育委員会  
**協力**：山口市道場門前・西門前商店街、tysテレビ山口  
**「1x60」共同製作**：  
Place des Arts, Montreal, Canada  
Grand Théâtre de Lorient, France  
**企画制作**：山口情報芸術センター、Fortier Danse-Création

#### 公演時のご案内

##### 特別割引について

青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。  
割引、B席ともローソンでの取扱いはありません。any会員／特別割引とも前売のみ。

##### 託児サービス：

対象 6ヶ月以上 託児時間 開演の30分前から終演後30分まで

料金 お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法 7月16日(日)までに上記チケットインフォメーションへお申し込みください。未就学児童の入場はご遠慮ください。

##### 車椅子席：

車椅子エリアを設けています。また、スタッフが介助しご案内できる席もあります。事前にお問い合わせください。

##### 補聴システム：

難聴者向けの補聴システムをお貸しします。当日、スタッフへ声をおかけください。

**この件に関するお問い合わせ**：山口情報芸術センター 岸、四元  
〒753-0075 山口市中園町 7-7 tel.083-901-2222 fax.083-901-2216  
information@ycam.jp <http://www.ycam.jp> mobile.ycam.jp(携帯)

## ■アーティストプロフィール

**ポール＝アンドレ・フォルティエ** 振付家・ダンサー

1948年カナダ・ケベック州生。演劇と文学の教師を経て、1973年、ジネット・ローラン、エドゥアール・ロック（ラララ・ヒューマン・ステップス）などケベックの著名な振付家を輩出したグループ、ヌーベル・エールに参加。1978年より振付家としてデビュー。人間関係、人の欠点、タブー、固定観念を鋭く見抜く視点がたちまち高い評価を得る。各国で作品を発表し続け、2004年には初来日し、青山ダンスビエンナーレで紹介された孤独を新鮮な視点で描いた作品「Tensions」をでは話題を呼んだ。

ケベック大学での10年間の教授職の後、現在は、モントリオールの芸術総合センター、プラス・デ・ザールのレジデンシャルアーティストとして創作を続けるとともに、ケベック芸術文芸カウンシルの副委員長を務めている。

**田邊アツシ** 映像作家 ※「30x30」参加

1971年山口県萩市生。山口市在住。映像インスタレーション作品を制作する一方、TV-CMの演出等を手掛ける。2002年個展「私画像」展(アスピラート「switch」/防府市)を行う。また、2001年山口きら博では、山口市館のショーのために映像を制作。

**南 隆雄** メディアアーティスト ※「1x60」参加

1976年大阪府生。京都府在住。アートユニット『るさんちまん』及びライブ映像パフォーマンス集団『USUSU』メンバーとして国内外で活動。2005年イギリス・リバプールでの「Rock the future」展、2003年のYCAMオープニング「Media Sockets」等に参加。

## ■ポール＝アンドレ＝フォルティエへのコメント

### □野外連続ダンス公演「30x30」へ向けて

「この 30 分のソロは劇でもダンスショーでもない。よい席を確保できる入場券の売り場もない。実はよい席は1つもないのである。イタリアの舞台を思い浮かべてもそれはもうない。我々は戸外へ街の中へ、フランス、英国、日本、カナダへと出かけていく。60歳に近い男の身体がその都会性を極めた運動感覚の成果を発散する。歳を重ねた体は、それを見る通行人がアメリカ人であろうとヨーロッパ人であろうと、あるいは西洋人であろうとアジア人であろうと、人それぞれに違った意味を訴える。一体我々は何を感じ取るであろうか？まるで建築のようだ、機械的だ、形式的だ、あるいは男とその愚かさ、とでも思うだろうか。

この移動・調整可能な作品をフォーティエは演じるのだが、約4分の3世紀生きてきた男の体はもはや社会的政治的主張をするための手段ではなく、動くインターフェイスであり、彼が常に相互作用している環境に関する中間概念の役割を演じる。」

ノーマン・マーシー(ジャーナリスト、ダンス批評家)

■ 劇評

□ ザ・ジャーナル紙（ニューキャッスル）2006年3月2日（木）掲載

The Journal Thursday, March 2, 2006 [www.icNewcastle.co.uk](http://www.icNewcastle.co.uk)

---

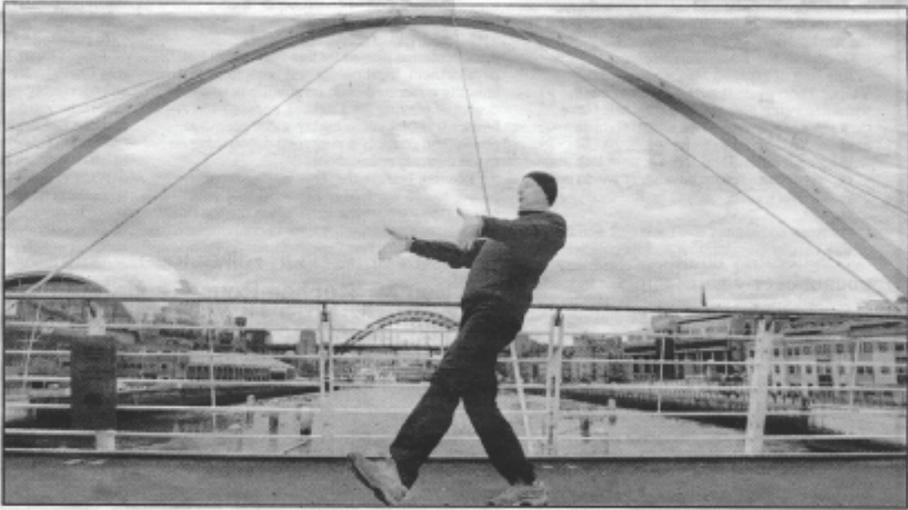
## Dance on the Tyne is all mine

EYEBROWS were raised on Gateshead's Quayside yesterday as Canadian dancer Paul-André Fortier performed the world premiere of his piece Solo 30x30 on the Millennium Bridge.

Mr Fortier describes the piece as '900 minutes of intimacy between a man and a city'.

The performance is being organised by Dance City, the region's new £7.6m home for dance, as a taste of the forthcoming month-long festival Dancing the World, which will attract the best in international choreography to the North-East this May.

— Spokesman James Hails



HIGH LIFE: Paul-André strutting his stuff yesterday. He'll be doing the same turn at 1pm every day this month on the Quayside.

said: "He is going to perform, whatever the weather, and will react to it and to the people around him."

"The only thing that will

interrupt the piece is if the bridge has to go up."

After a month-long residency on the Millennium Bridge, Fortier plans to perform the work

in four other cities across the world - Nancy in France, Yamaguchi in Japan, Montreal in Canada and the Canadian capital Ottawa. You can experience

Solo 30x30 for yourself, by coming along, rain, snow or fog, at 1pm every day this month on the Quayside.

**Guy Woodward**

—タイン川のダンスは自分の目で—

昨日、ミレニウム橋でカナダのダンサー、ポール＝アンドレ・フォルティエがソロのダンス「30x30」を世界で初演した時はゲーツヘッドの波止場の大きな驚きに包まれた。

フォルティエはこの作品を「人と都市を親密に結びつける 900 分」と表現している。

まもなく「ダンシング・ザ・ワールド（世界ダンス祭）」が1ヶ月間開催され、今年5月には北東地区に世界最高の振付作品が集まることになる。その祭りに一花添えるためにダンスシティ（この地域に760万ポンドをかけて新しくできたダンス拠点）が企画したイベントである。

スポークスマンのジェイムズ・ヘイルズによると、「彼はどんな天候だろうと、天気や周りの観客に対応しながら踊り、もし彼がパフォーマンスを中断するとすれば橋が開く時である。」

フォルティエはミレニウム橋で1ヶ月間演じた後、フランスのナンシー、日本の山口、カナダのモントリオール、首都のオタワの4都市で上演する予定である。今月、雨だろうと雪だろうと霧だろうと毎日午後1時に波止場に来れば、あなたも「30x30」を体験できる。

ガイ・ウッドワード

## □カナダ・ケベック州芸術月間とは

演劇、ダンスの視点から、文化や歴史が複雑に混在するカナダ・ケベック州の芸術を紹介します。舞台で、レクチャーで、映像で、北米大陸の中で唯一のフランス語圏“カナダ・ケベック州”を山口情報芸術センター内各所で味わうイベント満載の期間です。

### 1)ポール＝アンドレ・フォルティエ<sup>サーティエ・サーティエ</sup>振付・出演作品を2作品上演！

野外連続ダンス公演「30 x 30」 映像：田邊アツシ(山口市吉敷在住)

日時：2006年6月19日(月)～7月18日(火)

12:30～13:00(連日) ※13:00を予定していましたが、12:30に変更になりました。

会場：山口市道場門前・西門前商店街 ※料金無料

ワン・シックスティエ

YCAM滞在制作新作ダンス公演「1 x 60」 映像：南 隆雄

日時：2006年7月23日(日) 14:00開演

会場：山口情報芸術センター スタジオA

料金：全席指定

A席一般2,500円 any会員/特別割引2,000円

「アンデルセン・プロジェクト」とのセット券一般5,000円 any会員4,000円

B席1,000円(学生対象 学生証をご呈示ください)

### 2)＜映像の魔術師＞ロベール・ルパージュに、白井 晃が一人芝居で挑む！

演劇公演「アンデルセン・プロジェクト」

作・演出：ロベール・ルパージュ 出演：白井 晃

日時：2006年7月29日(土)19:00開演/30日(日)14:00開演 30分前開場

会場：山口情報芸術センター スタジオA

料金：全席指定

A席 一般 3,500円 any会員/特別割引 3,000円

ポール＝アンドレ・フォルティエ「1x60」とのセット券一般5,000円 any会員4,000円

B席 2,000円(学生対象)

### 3)作品をより楽しむための公開講座を開催！

初めてのパフォーマンスガイドvol.4

「カナダ・ケベック州発一世界に発信するダンスとサーカス」

講師：石井達朗(舞踊評論家、慶応大学教授) 料金：無料

日時：2006年6月24日(土) 17:00～

会場：山口情報芸術センター 1F BIT THINGS

カナダ・ケベック州の多彩なダンス/演劇シーンを紹介します。

### 4)カナダ・ケベック州の舞台作品を一覧するパフォーマンス・フィルム・フェスティバル！

「ケベック・ダンス・ビデオ」

日時：2006年7月15日(土)～17日(月・祝)

会場：山口情報芸術センター スタジオC 料金：1回300円 通し券1,000円

エドゥワール・ロック(ラララ・ヒューマンステップス)、マリー・シュイナルなど、

カナダ・ケベック州を代表する振付家/ダンサーのビデオを上映します。